

2025（令和7）年度 教育・養護実習報告会

今年度の教育・養護実習も、北部地域の学校に加え、北部地区以外では母校の協力を得て実施しました。内訳としては、小学校・中学校・高等学校の計43校で58名（英語20名、商業1名、情報1名、保健体育25名、養護11名）の学生が、それぞれ2週間から3週間の実習を無事に終えることができました。

去る12月5日（金）には、講義棟の10教室に分かれて教育・養護実習報告会を開催しました。報告会では、実習生が自作のパワーポイント資料を用いて、実習期間中の一日の流れ、自身の失敗談、研究授業を通して得た学びや今後の改善点、指導教員からの助言などを発表しました。さらに、時間を意識して授業を進める重要性や、授業を重ねる中で工夫し改善を図った点についても、具体的なエピソードを交えて紹介しており、実習を通しての学生の成長がよく伝わってきました。

また、3年次の学生からは、今後の自分の姿を思い描きながら、少人数体制ならではのメリット、学生と良好な関係を築く方法、学校で実際に使用されている教材を取り入れることのメリット・デメリットなど、具体的な質問が多く寄せられました。こうした姿から、実習に向けた強い意欲が感じられ、将来の夢に向かって学びを深める有意義な報告会となりました。報告会の開催にあたり、ご協力いただいた先生方に心より感謝申し上げます。

報告 教員養成支援センター係員 大月 朋子



実習発表の様子(英語)



実習発表の様子(商業)



実習発表の様子(情報)



実習発表の様子(保健体育)



実習発表の様子(養護)



発表を真剣に聞く3年次の学生